

2級建築実地問題「施工計画」

会社名	氏名	FAX番号	メールアドレス

受検種別 → 建築 ・ 躯体 ・ 仕上げ ※該当するものを○で囲む

選択した問題に、必ずチェックを入れてください。
チェックのないものは、採点が出来ません。

- 問題A
- 問題B
- 問題C
- 問題D

1. 選択した問題の工事で、あなたが担当した工種において、次の項目の中から異なる項目を**3つ**選び、施工に当たり**事前に検討したこととその結果行ったこと**、何故そうしたのか**その理由**を、**工種名**をあげて具体的に記述しなさい。

ただし、「事前に検討したこととその結果行ったこと」については、同じ内容を記述したもの又はコストについてのみ記述したものは不可とする。

なお、工種名については、同一の工種名でなくてもよい。

[項目]

「施工方法又は作業方法」

「資材の搬入又は荷揚げの方法」

「資材の保管又は仮置きの方法」

「施工中又は施工後の養生の方法」 (労働者の安全に関する養生は除く)

「試験又は検査の方法と時期」

①	選択した項目	工種名:
	事前に検討した事 その結果行った事	
	その理由	

添削者記入欄

②	選択した項目	工種名:
	事前に検討した事 その結果行った事	
	その理由	

添削者記入欄

③	選択した項目	工種名:
	事前に検討した事 その結果行った事	
	その理由	

添削者記入欄

2級建築 添削	氏 名
施工計画	

2. 選択した問題の工事及び受検種別にかかわらず、次の項目の中から**2つ**選び、あなたの今日までの工事経験に照らして、**検討すべき事項とその理由**及び**対応策**を、**職種名**をあげて具体的に記述しなさい。

ただし、解答はそれぞれ異なる内容の記述とし、1. の解答とも重複しないものとする。

[項目]

「品質低下の防止」

「工程遅延の防止」

「公衆災害の防止」

①	選んだ項目	職種名:
	検討すべき事項 その理由	
	対応策	

添削者記入欄

②	選んだ項目	職種名:
	検討すべき事項 その理由	
	対応策	

添削者記入欄

2級建築実地問題 「施工計画」参考記述例

施工計画 問1の参考文例－1 受検種別→建築、躯体

以下の解答例を参考に、実際に行った施工の記述文を作成して下さい。

①	選択した項目	施工方法又は作業方法	工種名：型枠工事
	事前に検討した事 その結果行った事	基礎の型枠の施工方法について検討した。基礎の型枠は、木製型枠を使用する予定であったが、鋼製型枠に変更した。	
	その理由	鋼製型枠は、転用性や仕上げの精度が高く、組立が容易で作業性が向上するため。	

②	選択した項目	資材の搬入又は荷揚げの方法	工種名：型枠工事
	事前に検討した事 その結果行った事	柱・梁の型枠の搬入について検討した。型枠は工場で組んだものをトラックで搬入し、ラフタークレーンで直接当該箇所に揚重し取付けた。	
	その理由	工事場所の敷地に余裕がなく、現場で型枠を加工したものを仮置きすることが出来なかったため。	

③	選択した項目	資材の保管又は仮置きの方法	工種名：鉄筋工事
	事前に検討した事 その結果行った事	基礎に用いる鉄筋の保管について検討した。鉄筋は台木を利用して地面から10cm以上離し、ブルーシートで覆って保管した。	
	その理由	鉄筋が直接雨にさらされないようにし、ごみ・土・油などの付着や錆の発生を防止するため。	

④	選択した項目	施工中又は施工後の養生の方法	工種名：コンクリート工事
	事前に検討した事 その結果行った事	冬期のコンクリートの養生について検討した。コンクリートを打設した箇所をシートで覆い、ジェットヒーターを用いて養生を行った。	
	その理由	養生温度が低いと、必要なコンクリートの圧縮強度を得るための期間が長くなるため。	

⑤	選択した項目	試験又は検査の方法と時期	工種名：鉄骨工事
	事前に検討した事 その結果行った事	スタッド溶接の検査を検討した。溶接部のアンダーカットの有無を全数目視し、仕上り高さ・傾きの寸法を100本ごとに1本抜き取り検査した。	
	その理由	スタッド溶接部の溶接欠陥の防止と、鉄骨梁とコンクリートスラブを一体化することにより、建物の剛性や耐力を確保するため。	

2級建築実地問題 「施工計画」参考記述例

施工計画 問1の参考文例－2 受検種別→建築、仕上げ

以下の解答例を参考に、実際に行った施工の記述文を作成して下さい。

①	選択した項目	施工方法又は作業方法	工種名：防水工事
	事前に検討した事 その結果行った事	平場のアスファルトルーフィングの張付けについて検討した。重ね幅は100mm以上とし、水上側が水下側の上になるように張り重ねた。	
	その理由	重ね幅を確保することで漏水を防止できるため。また、水は高い方から低い方に流れるので、水下側を先に張付ける必要があるため。	

②	選択した項目	資材の搬入又は荷揚げの方法	工種名：内装工事
	事前に検討した事 その結果行った事	ビニル床長尺シートの搬入について検討した。ビニル床長尺シートは、工場でプレカットし、1本あたりの重量を軽減して搬入した。	
	その理由	ビニル床長尺シートの搬入時における落下や接触による壁・床等への損傷を防止するため。	

③	選択した項目	資材の保管又は仮置きの方法	工種名：ガラス工事
	事前に検討した事 その結果行った事	ガラスの保管について検討した。ガラスは室内で立てて置き、ガラスの下部と2枚のガラスの間に緩衝材を入れ、ロープで固定した。	
	その理由	ガラスを平置きすると、ガラスの破損や汚れの原因となるため。また、ロープでの固定は、地震等によるガラスの倒れを防止するため。	

④	選択した項目	施工中又は施工後の養生の方法	工種名：塗装工事
	事前に検討した事 その結果行った事	外壁塗装中の塗料の飛散防止について検討した。外壁足場の外周には、隙間が生じないようにメッシュシートを設置し、建物全体を覆った。	
	その理由	強風等によって塗料が飛散し、歩行者や近隣住宅に付着することを防止するため。	

⑤	選択した項目	試験又は検査の方法と時期	工種名：タイル工事
	事前に検討した事 その結果行った事	外壁タイルの接着力試験について検討した。試験体の個数は3個以上とし、試験の時期は施工後2週間を経過してから行った。	
	その理由	施工後、外壁タイルのはく落による危険を回避し、第三者災害を防止するため。	

2級建築実地問題 「施工計画」参考記述例

施工計画 問2の参考文例

以下の解答例を参考に、実際に行った施工の記述文を作成して下さい。

①	選んだ項目	公衆災害の防止 工種名：解体工事
	検討すべき事項 その理由	はつり作業時に粉塵の発生を防止する方法。 居住者及び近隣住民に対する粉塵の対策が必要であったため。
	対応策	事前に、はつり作業日のお知らせを居住者及び近隣住民に配布し、 作業時は、はつり部分の周囲をシートで覆った。

②	選んだ項目	工程遅延の防止 工種名：型枠工事
	検討すべき事項 その理由	基礎地中梁の型枠の設置及び取外しの作業時間を短縮する方法。 先行作業の遅延により、型枠工事の工程短縮を要請されたため。
	対応策	基礎地中梁の型枠をラス型枠に変更し、型枠の取外しの手間をなく した。

①	選んだ項目	品質低下の防止 工種名：コンクリート工事
	検討すべき事項 その理由	温度低下によるコンクリートの凍結やひび割れを防止する方法。 寒冷期のコンクリート打設で、品質を確保する必要であったため。
	対応策	コンクリート打設後、コンクリートの仕上げ面をシートで覆い、ジ ェットヒーターで加温した。

②	選んだ項目	工程遅延の防止 工種名：内装工事
	検討すべき事項 その理由	せっこうボード張りの作業時間を短縮する方法。 工期の厳しい工事で、内装工事の工程短縮を要請されたため。
	対応策	工場でプレカットしたせっこうボードを現場に搬入し、現場ではせ っこうボードの取付け作業のみとした。